



高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板

【3月のテーマ】 水疱瘡(みずぼうそう)



高田病後児保育所スタッフより

今月のテーマは「水疱瘡(みずぼうそう)」です。10歳以下の子どもによくみられる感染症で正式には「水痘」と呼ばれます。

☆『原因・症状』

水疱瘡は大人や高齢者がかかる帯状疱疹(ヘルペス)という病気と同じウイルスです。感染力がとても強いウイルスのため、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や空気中に漂うウイルスを吸い込むことで、感染します。あっという間に流行します。

みずぼうそうの症状は、発熱と水ぶくれをもった赤い発疹が、全身に出ます。2～3日でピークとなり、その後は乾いて黒いかさぶたになります。

感染力があるのは発疹が出る1～2日前から、出た4日～5日(かさぶたになるまで)の間です。

☆『治療・予防』

症状がひどい場合には、抗ウイルス薬を処方します。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢は、1歳以上3歳未満。2回接種が望ましいです。

3歳以上のお子様もみずぼうそうにかかってなければ、2回接種が望ましいです。

☆『ご家庭で気を付けてください』

ひっかいてかきこわさないように、爪は短くしておきましょう。

入浴はぬるめのお風呂やシャワーでさっと汗を洗い流すとかゆみも少なく化膿することも少ないです。

食事は口の中にできると痛いので、水分を十分に摂ってください。熱いもの、酸っぱいもの、塩辛いものなどは避けてください。

熱がなく、元気の場合でも発疹がすべてかさぶたになるまでは外出を避けてください。

☆『登園・登校について』

学校保健安全法によると、すべての発疹が痂皮化するまで出席停止の目安とされています。かかりつけの医師、お子さんが通われている園や学校にご相談のうえ登園・登校を行ってください。

